

病害虫防除技術情報第14号

令和5年9月29日
三重県病害虫防除所

ダイズにおけるハスモンヨトウ、吸実性カメムシ類の発生量が増加しています。

1 対象作物: ダイズ

2 対象病害虫名: ハスモンヨトウ、吸実性カメムシ類(ミナミアオカメムシなど)

3 発生状況と今後の予測

(1) 本年は早い時期からハスモンヨトウの発生量が多く、各地のダイズのほ場で白変葉が多発しています。

(2) 予察圃(松阪市嬉野川北町)におけるハスモンヨトウのフェロモントラップ誘殺数(8月第6半旬~9月第5半旬)は2,189頭(平年1,607頭)と多い状況です(図1)。

(3) また、予察灯(松阪市嬉野川北町)における同時期のミナミアオカメムシの誘殺数は598頭(平年2,441頭)で、最近増加しています。(図2)

(4) 1か月予報(9月28日・名古屋地方気象台発表)によると、向こう1か月の気温は高く、ハスモンヨトウや吸実性カメムシ類の発生に好適条件が続くと予想されます。

4 防除対策

(1) 薬剤散布は、ハスモンヨトウと吸実性カメムシ類の同時防除が効率的です。

(2) 吸実性カメムシ類については、子実被害を抑制するためには、開花20日後と開花40日後の2回防除が効果的です。

(3) 無人ヘリなどによる広域一斉防除がより効果的です。

(4) 薬剤抵抗性回避のため、異なる作用機構の薬剤をローテーション散布してください。

(5) 防除薬剤は三重県農業情報システムで検索することができます。

(<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/mie>)

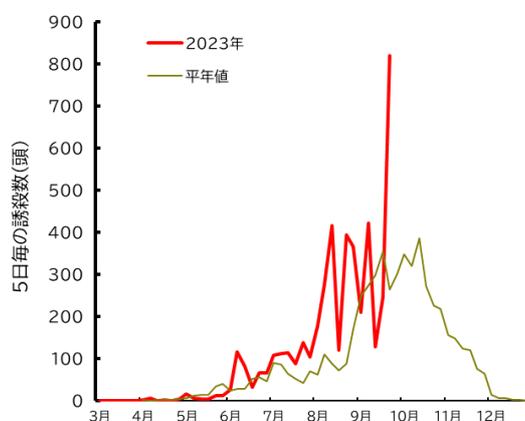


図1 フェロモントラップによるハスモンヨトウ成虫の誘殺数(松阪市嬉野川北町)

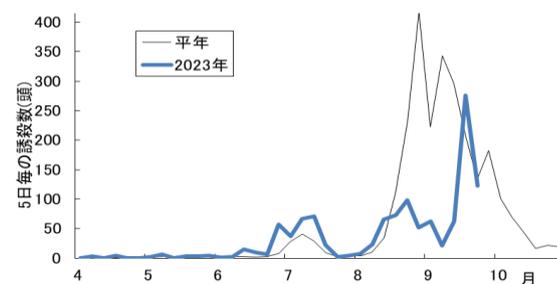


図2 畑地の予察灯におけるミナミアオカメムシの誘殺数(松阪市嬉野川北町 100W水銀灯)

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。